



自ら仲間とともに、たくましく生きる子
～ 考えいっぱい やさしさいっぱい 力いっぱい ～

■分散登校へのご協力、ありがとうございました

9月17日（金）に一斉登校が再開しました。子どもたちが同じ空間にいて話したり笑い合ったりするのは、7月20日（金）以来、約2カ月ぶりのことでした。

朝の会の時間に教室を回ると「みんな一緒にいるって、何だかちょっと変わった（新鮮な）感じ。」「分散登校の時より教室がちょっとせまく感じる。」「でも、みんな一緒にいる方が楽しい。」等、にこにこしながら話す子どもたちの姿がありました。それを聞いている学級担任もにこにこしていました。同じ空間で普通に会話して一緒に笑い合える喜びを、子どもたちも私たちもあらためて実感した瞬間でした。

コロナ対策のため授業や活動の一定の制限は続いています。子どもたちが揃うことで委員会や係活動が行えるようになり、学校の日常生活が徐々に戻りつつあります。今は、前期締めくくり活動と、修学旅行等の校外学習に向けた取組を始めつつあるところです。

分散登校とオンライン学習について、保護者の皆様には多大なご協力をいただきました。子どもたちにとって、1日4～5時間のオンライン学習は難しい部分があったと思います。担任も努力していましたが、タブレット画面越しであることから、見届けや声かけが十分にできなかった場面もあったのではないかと思います。それでも子どもたちが落ち着いて取り組むことができたのは、保護者の方が環境を整え、適切に支援をしてくださったおかげです。本当にありがとうございました。

■前向きな気持ちと、やさしい心をつなぐ色ターバン

以前にご案内させていただいたように、10月2日（土）に予定していた運動会「にじいろスポーツランド」は中止となりました。子どもたちも保護者の皆様も残念に思われたことと思います。私たち職員も同じ気持ちです。今後、修学旅行や校外学習の実施の見通しが確かになったら、運動会に代わる行事をあらためて計画したいと考えています。

そんな中、9月24日（金）子どもたちがまた活躍してくれました。「にじいろ学級遊び」の実施です。今回は赤白帽子の代わりに、運動会用に準備した5色のターバンを着けての実施でした。赤・青・黄・緑・紫の5学級に別れての20分間の遊びは以前と同じです。でも、学級ごとに同じ色のターバンを付けることで一体感は一層高まりました。

一体感を高めた秘密は、もう一つありました。実は6年生が、同じ学級に所属する下級生一人一人の名前をターバンに丁寧に書いて渡したのです。

「学級の仲間としてこれからも一緒に頑張ろう」という前向きな気持ちとやさしさが伝わる素敵な贈り物になりました。下級生にとっては、6年生への憧れを一段と強める機会になりました。

運動会は予定通りできなくても、自分たちでよりよく、より楽しい学校は創れる。創ってみせる。そんなたくましさを感じる姿でした。



【黄色ターバンを着けて遊ぶイエロー学級】